

安心・安全 info

発行：自然社
〒064-0914
札幌市中央区
南14条西8丁目1056番1
Tel.011-562-0606
Fax.011-562-0808

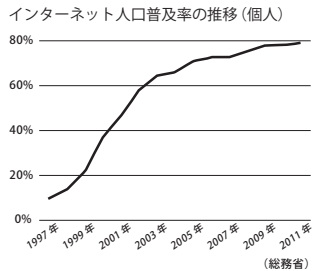
防犯対策に携わる人のためのミニ情報誌

http://www.shizen-sha.co.jp

2012.8

「サイバー犯罪」

ネット人口普及率約80%！
利用者増加で増える関連犯罪



遠くの出来事ではない

「知らない間にお金引き出される」、「情報が盗まれる・データが破壊される」、「パソコンが悪事に加担させられる」、「ネットを通じて詐欺に遭う」などの犯罪被害が増えています。「サイバー犯罪」によるものです。

サイバー犯罪と聞くと国や企業のシステム中枢への不正侵入や情報破壊(クラッキング)などを想像しがちです。しかし、不正アクセスで盗んだIDやパスワードを使ってネットバンキングから預金を引き出す行為、ウイルスに感染させるアプリケーションの配布、悪意のあるサイトへ引き込み料金を請求するフィッシング詐欺、サクラサイト商法など、個人の情報やお金を狙うケースが実に多いのです。昨年中のサイバー犯罪の検挙件数は5741件。このうちネットワーク利用犯罪は5388

件で過去最高を記録しました。

ネットワーク利用犯罪とはネットを利用して犯罪を実行したり、犯罪の敢行に不可欠な手段としてネットを利用するもので、内訳で最も多いのは「詐欺」でした。

全国の警察で受理したサイバー犯罪等に関する相談件数は8万273件にのぼることから、検挙されたのは氷山の一角と思われれます。

後絶たぬ「ネット」の悪用

今や日本のネット普及率は人口の約80%とも言われる時代。あらゆる世代の人々が、ショッピングやオークションなどで物を売買し、メールやサイトで交流し、オンラインゲームや動画を視聴するなど、さまざまな行為をネットで行っています。ネットを利用すれば人と人が簡単につながる事ができます。市民と犯罪者

とのつながりも同じで、これは利用者すべてが標的になる可能性を意味しています。

ネットならば「不特定多数」の標的に対して、「遠隔」から「匿名」で攻撃やワナを仕掛けることができます。しかも証拠が残りにくく犯行がネット内で完結するため悪事を働くには好都合です。

その仕組みに気づいた犯罪企業者や、一部「振り込め詐欺」犯も犯行の場をネットに移したとみられています。

シニア層のデジタル移行

ネット利用者はシニア層にも拡大しているため、今後はネットの世界でも高齢者の犯罪被害の

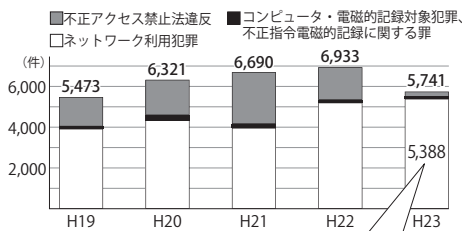
増加が予想されます。今は「調べ物をするだけ」などネット利用を限定している高齢者も、今後活用が進めば、更なる被害の拡大も心配されます。

危険の周知・防御の啓発を

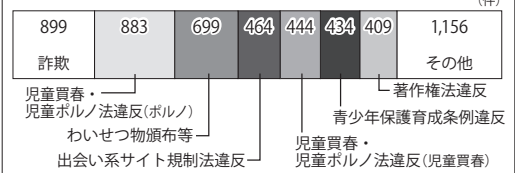
新しいツールの出現は、それを悪用する者をも出現させます。しかも犯行の手法は多岐に渡り、複雑・多様化は顕著です。被害を防ぐために関係機関・企業等が対策を講じるのはもとより、市民自らが注意深くなる

ことが欠かせません。「ネットには危険が潜んでいる」ことを周知し、防御法を啓発する必要性がますます高まっているようです。

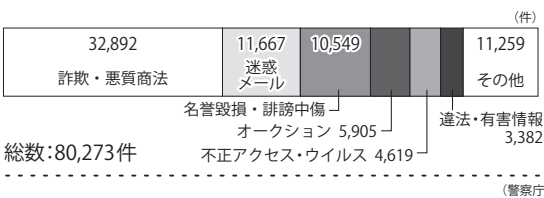
サイバー犯罪の検挙件数の推移



H23 ネットワーク利用犯罪の内訳



H23 都道府県警におけるサイバー犯罪等の相談受理件数



困ったもの

詐欺は世につれ、世は詐欺につれ

被害は減少傾向—でも、油断は禁物「振り込め詐欺」!!



平成15年の夏あたりから目立ちはじめた「オレオレ詐欺」。平成16年には、社会情勢の変化などに乗じて、「架空請求詐欺(恐喝)」、「融資保証金詐欺」といった新たな手口も加わり、警察庁は「振り込め詐欺」と命名しました。この年、認知件数は約2万5千件、被害総額は約284億円に上り、被害はピークを迎えました。

続いています。

「オレオレ詐欺の復活—振り込ませない『受取型』も」

振り込め詐欺の中で特筆すべきは、「オレオレ詐欺」が、平成22年から認知件数、被害額ともに2年連続して増加していること(図1)。種類別に見た認知件数の割合の推移(図2)で見ると、オレオレ詐欺は平成21年には40%程度でしたが、昨年には約75%を占めるまでになり、さまざまな手口を編み出してきた「振り込め詐欺」の原点回帰が顕著な状況といえます。

周知のように、金融機関などの現金自動預け払い機(ATM)は一日あたりの利用限度額が設定されました。そのため、口座を利用して振り込まれる従来型の送金手段では、度に多額の現金が騙し

とれなくなり、実行犯は家に直接向いて、現金やキャッシュカードを騙し取る『受取型』の手口が増えつつあるようです。「振り込め詐欺」の送金手段別認知件数の推移(図3)を見ても、直接受け

取る手段の割合の急上昇が見取れます。「受取型」手口のひところは、息子や親族を装った犯人が、「携帯電話の番号が変わった」という電話を事前につけて(アポ電)、電話

番号を登録し直させ、後日「お金が必要」と犯人からの電話を身内からのものと信じ込ませたうえで、本人の代理を装った犯人が現金を騙し取る『現金受取型オレオレ詐欺』と言われる手口です。

その後「振り込め詐欺」は、警察の総力を挙げた取り締まりと、官民一体となった被害防止活動が功を奏し、昨年には認知件数がピーク時の約4分の1、被害総額も約5分の2と、大幅な減少を示していますが、まだまだ100億円を超える被害を生んでいます。

「金融商品等の取引を口実とした詐欺」。さらには、女性紹介などの名目で、雑誌に広告を掲載したりメールを送信するなどして嘘の情報を提供した後、会員登録料や情報料等の名目で現金をだまし取る「異性との交際のあつせんを名目とした詐欺」などといったものも多発するなど、決して予断は許されない情勢が続いています。

そのときそのときの時流に乗じて文明の利器(携帯電話やATMなど)を巧みに悪用し、人間の心理をかく乱させながら、手をかえ品をかえ出沒するため、なかなか後を絶ちません。そんな犯罪被害が市民に及ぶのを未然に防ぐためには、新手法の手口の情報をいち早く周知することももちろん、旧来の手口についても地道に注意を喚起し続けることが望まれます。

【図1】「振り込め詐欺」の認知件数・被害総額の推移

区分	年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
認知件数	認知件数	25,667	21,612	19,020	17,930	20,481	7,340	6,637	6,233
	オレオレ詐欺	14,874	6,854	7,093	6,430	7,615	3,057	4,418	4,656
	架空請求詐欺	5,101	4,826	3,614	3,007	3,253	2,493	1,774	756
	融資保証金詐欺	5,692	9,932	7,831	5,922	5,074	1,491	362	525
還付金等詐欺	-	-	482	2,571	4,539	299	83	296	
被害総額(億円)	被害総額(億円)	283.8	251.5	254.9	251.4	275.9	95.8	82.1	110.1
	オレオレ詐欺	191.3	128.6	146.8	145.3	155.2	52.0	60.4	90.0
	架空請求詐欺	54.1	56.1	48.9	37.7	35.9	31.8	17.5	10.3
	融資保証金詐欺	38.4	66.8	54.2	38.6	37.5	9.0	3.4	7.2
還付金等詐欺	-	-	5.1	29.9	47.4	2.4	0.7	2.5	

※警察白書より

【図2】「振り込め詐欺」の種類別に見た認知件数の割合の推移



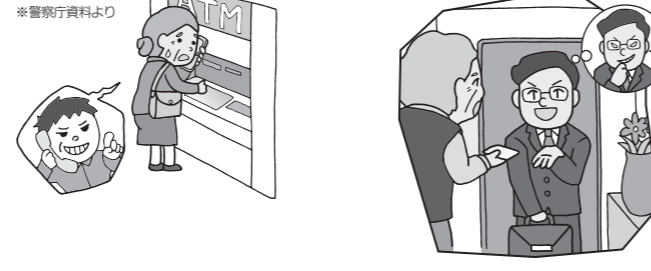
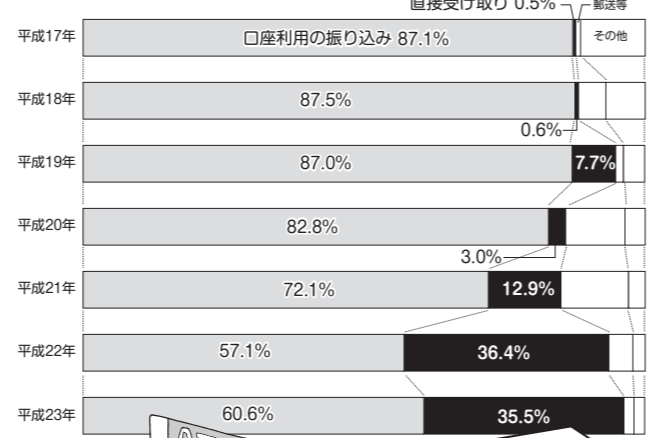
もうひとつの手口は、警察官などを装った犯人が電話で「あなたの口座が悪用されている」「キャッシュカードを預かります」などと不安や焦りを抱かせ、早急な対処が必要と思わせる手口。その後、警察官や銀行協会職員などを装った犯人が訪ねてきて、その場で暗証番号を聞き出し、キャッシュカードを持ち帰る『キャッシュカード受取型オレオレ詐欺』と言われるものです。



「金融商品等の取引を口実とした詐欺」。さらには、女性紹介などの名目で、雑誌に広告を掲載したりメールを送信するなどして嘘の情報を提供した後、会員登録料や情報料等の名目で現金をだまし取る「異性との交際のあつせんを名目とした詐欺」などといったものも多発するなど、決して予断は許されない情勢が続いています。

そのときそのときの時流に乗じて文明の利器(携帯電話やATMなど)を巧みに悪用し、人間の心理をかく乱させながら、手をかえ品をかえ出沒するため、なかなか後を絶ちません。そんな犯罪被害が市民に及ぶのを未然に防ぐためには、新手法の手口の情報をいち早く周知することももちろん、旧来の手口についても地道に注意を喚起し続けることが望まれます。

【図3】「振り込め詐欺」の送金手段別認知件数の推移



NCN HEAD LINE

昨年、「振り込め詐欺」全体の件数は減少したものの被害金額が逆に増えたのは、多額の現金を騙しとられる受取型オレオレ詐欺が増えたことが要因のひとつかもしれません。

新手法の詐欺情報をいち早く、旧来手口への警戒も怠りず!

加えて、「上場すれば株価が跳ね上がり必ず儲かる」などと虚偽の情報を提供して未公開株の購入を持ち掛け、現金を口座に振り込ませるなどしてだまし取る

文科省が「子ども安全対策支援室」を設置
全国で「いじめ」を巡る問題などが相次いでいることを受け、文部科学省は8月1日「子ども安全対策支援室」を省内に設置。担当部署関係者に警察庁生活安全局の職員2人を加えた21人で発足し、犯罪行為にあたる悪質な「いじめ」にも対応することにしています。

スマートフォンの不審アプリに要注意!
6月14日、警視庁サイバー犯罪対策課がスマートフォン向けの悪質ウィルスを開発。スマートフォンの普及とともに、アプリケーションをインストールする際に個人情報や抜き取られるなどして架空請求を受ける被害が激増しています。

改正著作権法の一部が10月1日から施行
DVDやCD、ネット上の画像や映像、音楽などのダウンロード行為が違法とみなされた場合、違反者は2年以下の懲役または200万円以下の罰金が科せられることとなります。

8月3日より新たに4物質が麻薬に指定
「脱法ハーブ」の吸引・摂取による救急搬送者が昨年比20倍のペースで急増。未成年者も多いことが指摘されている中、厚生労働省では7月から9物質を指定薬物に追加したのに加え、8月3日より通称名「JWH-018」や「MDPV」など既に指定薬物だった4物質を麻薬に指定しました。

新聞各紙や関係機関・団体などのHPを参考にしとまとめたものです。

ご注意下さい。
当社の防犯啓発商品に掲載した文章・イラスト・写真等を許可無く転載し、製作・販売している業者にご注意下さい。また、お客様のご発注により他の企業で作成された製品の中に、その企業が当社製品を許可無く転載、使用するケースも見受けられますので併せてご注意下さい。

各県警の戸別訪問はじまる 詐欺捜査で押収した 名簿登載者に直接注意

(兵庫、鹿児島)

全国の警察本部が振り込み詐欺や投資詐欺などの捜査で押収した名簿を警察庁が集約。延べ63万人分のリストを居住地別にまとめ、7月から月1度のペースで、管轄する都道府県警へ情報提供をスタートしました。各警察署ではリスト登録者への戸別訪問による注意喚起の取り組みが始められています。

8月から担当者による戸別訪問を始め、具体的対応を伝えるなど被害に遭わないよう注意を促しています。

また、今年3月から5月にかけて「オレオレ詐欺」が県内で多発した鹿児島県警では、名簿登載者約600人へ全28署の署員が訪問を開始し、被害防止策を伝えています。



ミニバイクに緑色回転灯を搭載 (愛知)

愛知県津島署は8月から、駐在所員が使うミニバイク7台に緑色の回転灯を載せてパトロールする活動を始めました。防犯協会長から要望を受け検討。見える警戒を展開し、犯罪や事故の抑止につなげることを目指した取

り組みです。赤色は緊急車両に限られており、車検のないミニバイクは指定を受けられないため、安全の象徴である緑色が選ばれました。



活動内容をお寄せください。

みなさまが行っている防犯対策や取り組み、地域の活動状況などを編集部までお寄せください。この「安心・安全Info」でご紹介させていただきます。また、活動を収めた写真がございましたら併せて掲載させていただきます。

「防犯戦隊ケセンジャー」が 安全指導に活躍 (岩手)

岩手県大船渡署の広報劇団

「防犯戦隊ケセンジャー」が、管内の保育園などを訪れ安全指導や防犯意識の定着に取り組んでいます。

震災対応のため全国から同署に出向している警察官が設立した「劇団よまわり」が、今年6月から「ケセンジャー」として新たな演出による広報活動を開始。

隊長は「地域の人に分りやすく警察情報を伝え、ひとりでも多くの人に笑顔になつてもらいたい」と、今日も隊員とともに悪者と戦っています。



高齢者を対象に 「振り込め詐欺防止検定」(埼玉)

埼玉県浦和署は、さいたま市内の高齢者を対象に振り込め詐欺について正しい知識習得を図るため、全国的にも珍しく県内では初めての取り組みとなる「防止検定」をスタートしました。

7月の検定は2回で173人が参加し、平均点は92.7点だったものの満点は二人のみの結果に。同署では、満点以外は被害の可能性があると厳しい評価をしています。データを防止策に活かすため、千人を目標に今後も続ける予定です。



TOPICSは、関係機関・団体などのHPを参考にしてまとめたものです。

川柳後記

編集後記に代え、防犯をテーマにした川柳はいかがでしょう。

パスワード 凝った揚げ句に
忘れ去り(セキュリティ:マニア)

対策が とられ廃れた

手口また(災いは忘れた頃に)

盗まなきや 今日も大事な
お客様(お客様は神様?)

帰り道 前の女性に

振り向かれ(あ、怪しい者じゃない)

ツイッター 不審サイトに

つい行ったー(思わぬつばやき)

留守宅を 悟られぬよう

点けたまま(節電の世の中だけ)

貯蓄なし 幸か不幸か

詐欺遭わず(やっぱり「幸」か)

合法か 脱法なのか

触法か?(難解「ハーブ」)

いじめでも 「あそび」を騙る

鼠輩ども(ねこのトム)

フィッシング 遭った友だち

趣味は釣り(疑似餌と知らず)